

保育園の自己評価について(令和5年度)

「保育所保育指針」の第4章 保育の計画及び評価に保育士等と保育所の自己評価が努力義務として示されています。

保育所の自己評価について、保育指針では次のように規定されています。

「保育所は、保育士の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」

そこで、すみれ保育園では、年1回の保育士等の自己評価を実施し、その結果を受け園の自己評価を年1回実施いたします。

すみれ保育園の自己評価

【評価基準】 A:かなりできている(4点) B:ほぼできている(3点)
C:あまりできていない(2点) D:ほとんどできていない(1点)

1. 保育の方法・内容

【養護】

・子ども一人ひとりに丁寧に対応している	3.6
・登園時は子どもの気持ちを考慮し対応している	3.8
・午睡時は、一人ひとりが安心できる環境作りを心がけている	3.8

【健康】

・排泄に際して、子どもが自ら進んで行けるような配慮や工夫をしている	3.3
・衣服の着脱に際して、子どもの意欲を大切に、着脱しやすいよう配慮している	3.8
・活動に際して、子どもが健康・安全に過ごせるような内容・環境を工夫・配慮している	3.5

【人間関係】

・相手の気持ちがわかるような声かけや援助を行っている	3.4
・ルール(きまり)の大切さを伝える工夫をしている	3.4
・色々な人との交流が持てるよう工夫をしている	2.9

【環境】

・身近な自然に興味・関心が持てるよう工夫をしている	3.6
・地域との交流が持てるよう自ら積極的に働きかけている	1.8
・集団の中での過ごし方や役割について気付けるような工夫をしている	3.3

【言葉】

・読み聞かせの時間を大切にしている	3.4
・子どもが話しやすい雰囲気作りを心がけている	3.5
・子どもの言葉にしっかり耳を傾けている	3.7
・生活に必要な簡単な文字・記号等に、興味や関心を持てるように配慮している	3.4

【表現】

・言葉、絵、造形、音など、子どもが最も得意な方法で、見たもの感じたものを表現することを大切にしている	3.6
・自由に表現できる環境作りを心がけている	3.3
・道具の正しい使い方を、一人ひとり丁寧に教えたり、見守ったりしている	3.6

・授乳は、一人ひとりに丁寧にしている	3.6
・離乳食については、一人ひとりに丁寧にしている	3.6
・おむつ交換をする際は、乳児の気持ちを考慮し対応している	3.7
・寝かせる際は、一人ひとりが安心できる環境作りを心掛けている	3.6
・乳児の発達段階を理解し、個々の成長や場面場面での適切な対応に努めている	3.4
一人ひとりを細やかに把握し、丁寧に対応している	3.4

【長時間保育】

・長時間(延長)保育のために、家庭的な雰囲気を作ることに配慮している	3.3
・子供のその日の様子を職員間で伝達し、連絡帳等の内容を検討しながら確実に保護者に伝わるようにしている	3.6
・子供の不安な心に寄り添い安心して待てるよう意識している	3.8

【子供の人権】

・子供の人権への配慮や、互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている	3.3
・性差へ先入観による固定的な対応をしないよう配慮している	3.4

2. 発達援助の基本**【指導計画の作成】**

・指導計画を作成する際、園の理念や保育過程等を基にしている	3.6
・指導計画を作成する際、個別の対応について配慮している	3.3
・指導計画を子供の発達の姿、興味・関心に基づいて見直し、次の計画作成に生かしている	3.4
・指導計画のねらいや内容を保護者に分かるように説明できる	3.2

【個人記録の作成など】

・現在、担当している子供の個人記録を作成している	3.5
・子供の個人記録に基づく情報を、その子供に関わる他の職員と共有している	3.6
・ケース会議や職員会議などで、あなたは積極的に発言している	2.8

3. 健康管理・食事

・登園時や保育中の子供の体調の変化に気付き、すぐに対応できるよう努めている	3.8
・健康診断の結果を保護者・職員間で共有している	3.3
・身体測定や健康診断の結果を、日常の保育に生かすよう努めている	2.7
・感染症が発症した際、マニュアルに基づいて対応している	3.5
・その日の喫食状況(哺乳量)を保護者に伝えている	3.8

・一人ひとりの子供の状態に応じた対応をしている	4
・子供が落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している	3.4
・食事に興味が持てるよう配慮している	3.4

4. 保育環境

・子供が心地よく過ごすことができるよう、採光や換気、温度や湿度に配慮している	3.8
・手洗い場での事故や怪我がないように配慮している	3.6
・衛生面に配慮している	3.7
・子供が安心できる環境作りを心掛けている	3.6
・子供が満足して遊べる環境の工夫をしている	2.8

5. 子育て支援

【子育て支援】

・保護者との関わりを積極的に持てるよう意識している	4
・虐待について速やかに対応できるよう努めている	3.5
・地域への取り組みに積極的に参加している	1.3

【一時保育】

・一時保育の際、子供一人ひとりに丁寧に対応している	2.9
---------------------------	-----

6. 地域の住民や関係機関等との連携

・園がその役割を果たすために必要な、地域の関係機関のはたらきについて知っている	2.4
・園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的に雰囲気作りを心掛けている	1.9
・中高生等の保育体験やボランティアを受け入れる際には、その意義や方針を理解・確認している。	2.4
・実習生を受け入れるときには、意義や方針を理解し指導的立場にあることを意識している	3.1

7. 運営管理

・園の保育理念や基本方針を理解し、日々の保育活動に生かしている	3.3
・保護者に、園の保育理念や基本方針を理解してもらうよう努めている	2.8
・保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めている	3.2
・自らの保育実践を振り返り、改善や活性化、専門性の向上に努めている	3.3
・園長や主任、同僚との間で良好な関係を築いている	3.5
・個人情報保護の観点から、常に対応している	3.3
・カウンセリングマインドの視点に立ち、常に保護者対応をしている	3.3
・事故や災害が生じた際にきちんと対処できる	3.2
・何事にも責任を持って行っている	3.5
・保護者や地域の方々が、言葉にされない願望やニーズをも先読みして応える心を持っている	3

自己評価まとめ

〈自己評価〉

- ・現場と役職の業務の両立に苦戦したが、出来る限りのことは行った。次年度はもう少し現場を把握しつつ、自分の業務も整理して対応していきたいと思う。
- ・0歳児クラスの担当にブランクがあったが、周りの職員と連携を取りながら協力して進めることができた。
- ・0歳児の遊び方と遊ばせ方について、もう少し見直し、研究ができると良かった。
- ・次年度のクラスでは少しずつ色々な遊びを取り入れ、楽しく保育し、子どもたちが楽しい毎日を送れる様心がけたいと思う。
- ・毎年、地域の住民や関係機関の働きについて知っているの項目に自信がないため、もう少し知れるようにしたいと思う。
- ・同じような遊びになってしまうため、変化を加え、あきずに楽しめるようにしていきたい。
- ・初めてのクラスリーダーでまとめることに苦戦したり、どうしたらいいか悩むことも多かったが、職員間のコミュニケーションがよくとれていた。声をかけあうことが苦手で、指示出しがうまくできなかつたり、うまく伝わらなかったこともあるため、次年度は、どんなことでも声を出して指示を出し、うまく連携していけるようにしたい。
- ・子どもひとり一人と接する際に子どもの主観的な立場に立ち自分のルールにはめようとしていないかを常に考えながら保育ができていた。
- ・一方で子どもに伝えるため、の技術がまだまだ未熟さを実感している。絵や形、道具を見たまま表現し伝えることも苦手であった。リズムなどの音楽も苦手意識があるため、一つひとつクリアにしていき、よりよい保育につなげられるようにしていきたい。
- ・リーダーとの連携をよりよいものにしていきたい。
- ・子どもたちとの関係性を築くことを意識してコミュニケーションを図った。話すときの目線や声色など一人ひとりと意識して関わることで楽しんで保育を行うこともできた。引き続き安心安全な保育を行い、ストレングスの視点を大切に努めて行きたいと思う。
- ・ルール遊びが得意ではないクラスで、うまく進まないことが多く避けてしまっていたが、次年度では簡単なルールの遊びを探して挑戦していきたいと思う。
- ・急がなければならない場面で、「早く」と急がしてしまったので、気分をあげながら自然と急げる声掛けを意識したい。
- ・自由遊びや粘土遊びが好きだったので、時間がある時優先的に回数を増やして遊んだ。
- ・育休から復帰して、母親になってから子ども一人ひとりをより大切にしないとという気持ちが芽生え、丁寧に対応できたと思う。課題としては、クラス全体を把握できるようにしていきたい。

